

女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表(地盤支持性能)

No.	指摘日	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	コメント内容	回答内容	資料等への 反映箇所	回答状況	備考
No.1～151, 153は, 02-他-F-19-0001_改32までで回答済のため省略									
152	2021/11/10	VI-2-13-4	地下水位低下設備揚水井戸の耐震性についての計算書	別紙3-6	南側排水路周辺のMMRについて, 位置付け(施設又は地盤)を踏まえて, 排水路としての役割, 設計の考え方を整理し説明すること。	南側排水路(防潮堤横断面)は, MMR内にある連続した空洞であることから, 排水断面を保持する上で必要なMMRの範囲を施設(耐震Cクラス)として位置づけることとしました。また, 耐震評価にあたり, 施設として設定したMMRを包絡するよう評価対象範囲を定め, 設計を行っていることを説明しました。	<ul style="list-style-type: none"> ・02-工-19-0069(改9) 地下水位低下設備の耐震計算の方針(別紙1) ・02-工-19-0072(改9) 地下水位低下設備揚水井戸の耐震性についての計算書(別紙3) 	今回回答	

女川2号工認 記載適正化箇所(地盤支持性能)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
No.1～314は、02-他-F-19-0001_改32までで整理済のため省略						
315	VI-2-1-3	地盤の支持性能に係る基本方針	32	地下水位低下設備の排水経路確保についての記載について、図5-1(2)敷地の形状により地表面を通じて排水する考え方がNo.1,3,4に係る説明であることを踏まえ、図の引用箇所を適正化しました。	2021/11/16	
316	基本設計方針	基本設計方針に関する説明資料【5条/50条 地震による損傷の防止】	38, 93, 159	地下水位低下設備の配管に係る記載について、仮設ホース等を接続する接続口が明確となるよう記載を適正化しました。また、添付書類「VI-2-1-1-別添1 地下水位低下設備の設計方針」に配管図を追加し、接続口の位置及び構造を明確にしました。	2021/11/16	
317	基本設計方針	基本設計方針に関する説明資料【5条/50条 地震による損傷の防止】	40, 96, 97, 162, 163	仮設ホース等による排水運用について、記載を追加しました。	2021/11/16	
318	基本設計方針	基本設計方針に関する説明資料【5条/50条 地震による損傷の防止】	38, 93, 159	揚水ポンプの機能に期待した運用であることが明確になるよう、記載を適正化しました。	2021/11/16	
319	VI-2-1-1-別添1	地下水位低下設備の設計方針	33～40	運用に係る記載について構成を整理し、屋外排水路の排水異常時の措置に係る資機材の配備、手順書及び体制の整備並びに教育訓練の実施方針に係る記載について、明確にしました。	2021/11/16	
320	VI-2-13-7	地下水位低下設備配管の耐震性についての計算書	3	地下水位低下設備概略系統図において、「分岐管」としていたものを「接続口」に適正化しました。	2021/11/16	